



会議録件名 “夢”まちプロジェクト推進会議（第2回）	主管課 町田市経済観光部産業観光課
日時 2017年2月17日（金） 午後3時00分～午後4時30分	場所 町田商工会議所
出席者 【委員】 大塚議長、井上副議長、米増委員、宮本委員、立木委員、鈴木委員、平本委員 【中心市街地活性化協議会事務局】 町田商工会議所 青島局長、榎本氏 【市事務局】 遠藤係長、栗原（産業観光課）	

（1）市から

- ・「情報発信に関する4者協定（小田急電鉄・J:COM 町田川崎局・町田商工会議所・町田市）2月定例会を開催、市で行われるイベント等の情報発信を連携して行っていく
- 中活協の情報など、もっと範囲を広げられないか
- ⇒今後4者協定のテーブルにどのような情報を出すか共有する

（2）その他

〈ペDESTリアンデッキ下環境改善事業について〉

現状の暗いイメージを改善し「町田市の玄関口としてふさわしい空間」を維持することを目的としている。4号デッキ（小田急町田駅・モディ前）については周辺事業者との調整、3号デッキ（JR町田駅前）については今年度整備方針を検討する予定

- ・デッキについては、雨漏りなどの問題がある
- ⇒改善をすることで利益を生み出すように、企画段階から周辺店舗と一緒に検討する必要がある
- ・デッキ上のにぎわいを、デッキ下に誘導し、店が繁盛するような将来像を作る必要がある
- ⇒市担当部署より今までの経緯を説明して、中活協としてどうかかわるかの検討を行う
- ⇒JR下について、今後市担当部署より2017年度検討会の詳細を説明して、中活協としての検討方法を整理する

〈来年度町田市予算について〉

- ・まちづくり計画に関連する市当初予算及び5ヵ年重点事業について説明
- 2017年度予算がついてない事業も、手を付けないわけではない
- ⇒市は、「来年度」と「喫緊」の市で検討したい項目を整理してあげる

- ⇒中活協で、原町田大通りの活用（イルミネーション、プロジェクションマッピングやフラッグなど）を検討する
- 2017年7月には、2018年度の予算要望を行う。中活協としても、2018年度の事業を検討願いたい
- ⇒中活協は、2017年7月までに2018年度にやりたいことを具体的に上げる

〈3月実証実験について〉

- 警察協議の結果、時点報告説明。警察からは、緊急車両通行空間を確保すること、交通誘導員を適切に配置することなどに留意をすれば実証実験開催は可能とのこと。本実験の結果を検証して、今後まちで行う事業の参考にしてほしい
- アンケート検証、荷捌き車両対策をしっかりとしてほしい
- 期間中の商店会の協力について、今後整理して説明してほしい
- ⇒市は、期間中の商店会の協力について今後説明する。また実施後に報告を行う

〈中心市街地の開発について〉

- ・現在計画されている開発について、駐車場の車の進入路の課題や市民からの要望が高い映画館誘致など地権者と協議をしている
- まちの要望として地権者に伝える検討（内容、手法）を行う